排　水　マ　ス

キッチンや浴室などの排水は、建物の周辺に設けられたマスを経由して、下水管に流れていきます。

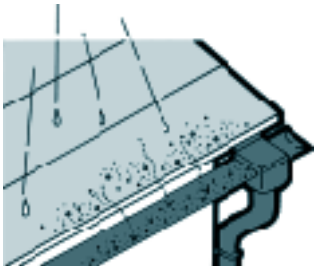
お掃除項目　マスのお掃除

お手入れ回数　年に 1～2回

お掃除方法　汚れはシャベルで

①キッチンや浴室などに最も近い位置にある排水マスには、油汚れや毛髪などがたまって、汚水の流れを妨げています。これを、シャベルなどで取り除きましょう。

②マスの周辺と排水管や溝などに付着した汚れは、取っ手の付いたナイロンたわしでこすり落としてから、水で洗い流します。



③雨水マスの中には、砂などがたまっていますのでシャベルで取り除きましょう。これは屋根に積もった空気中のほこりや砂などが雨で流され、雨樋を経由して雨水マスの中に堆積したものです。

④マス内に植木の根が入り込むと、ゴミがからみ付いて、汚水の流れが妨げられます。植木用のハサミで根を切り取りましょう。

やらないと

排水マスの掃除を怠ると、汚水が敷地の外部に流れず、床下や庭にあふれてしまいます。

浄　化　槽

浄化槽は微生物の働きにより、汚物を分解して放流する装置です。法律でその定期的な維持管理が義務付けられています。利用者は、専門の業者と維持管理契約を締結しなければなりません。契約の内容や業者に関する情報は、貴家のアフターサービス担当者、あるいは役所にお尋ねください。

点検項目

お手入れ回数　月に 1回程度

点検方法

次の異常がないか確かめてください。

①電源プラグは抜けていませんか？

②フタが外れたり、破損したりしていませんか？

③モーターが停止したり、異常な音を出すことはありませんか？

やらないと

①電源プラグが抜けたりモーターが故障すると、水質が悪化して、臭気が発生します。

②フタが外れたり破損すると、子供たちが浄化槽内に落ちて大きな事故につながるおそれがあります。

放置すると

機器を交換しなければならなくなります。（トイレが使用できなくなります。）

交換費用は、一部の部品を交換する場合、数万円から（機種や規模あるいは交換機材などにより大きく異なります）。

やめましょう

浄化槽内の微生物は、まさに“生き物”です。微生物が死ぬと浄化機能が低下しますので殺虫剤、防臭剤、あるいは塩素系の洗剤などを投入しないでください。詳しくは、お手元の取扱説明書をごらんください。

ご不明な点がございましたら、建物によって仕様が違いますので、詳細についてはご契約された請負会社までお問い合わせください。